

活 動 報 告 書（ 7 月 ～ 9 月 ）

プロジェクト名:同志社バーチャルキャンパスプロジェクト D-verse

作成者:永井康仁

1. 7 月～9 月の目標

- (1) 今出川・京田辺キャンパスの体験向上のための改良
- (2) バーチャルキャンパスを散策・紹介する動画の作成
- (3) 同志社七不思議体験ワールドの作成

2. 活動内容とその成果

*イベント別、チーム別、月別などカテゴリごとに分かりやすく分け、自由に記述してください。画像添付可。

(1) 今出川・京田辺キャンパスの体験向上のための改良

これまでの出展などでバーチャルキャンパスを体験してもらい、いただいた意見を元に既存の二つのキャンパスにいくつかの修正を行った。まず、自分がどこにいるのかわかりづらいという意見を元に、ワールド内に地図やアイコンを設置した。また、建物の中に入りたいという意見を元に、360°カメラ画像の配置を、建物の前に置くという方法から、建物前にある物体をクリックすると設置された 360°カメラ画像の中に移動するという方法に変更した。

これにより、バーチャルキャンパスを体験していただく際の満足度向上が期待できる。



図 1 ハリス理化学館前の 360° カメラアイコンとワープゾーン

(2) バーチャルキャンパスを散策・紹介する動画の作成

昨年度に作成した後、今までの出展や広告にて用いていた広告動画は、D-verse を紹介することが目的であり、バーチャルキャンパスを紹介することにはあまり重点を置いていなかった。そこで、実際に cluster 内でバーチャルキャンパスを一周する動画を撮影し、編集で建物の歴史や紹介を挿入した、バーチャルキャンパスを紹介することに重点を置いた新たな動画を作成した。

これにより、実際に操作するのは難しいという方にもバーチャルキャンパスを紹介することが可能になり、また出展の昼休憩時などにこの動画を流すことで、メンバーへの負担を軽減しながらバーチャルキャンパスを紹介することが可能になるといった効果が期待できる。



図 2 紹介動画の一部分（京田辺キャンパス）

（3）同志社七不思議ワールドの作成

昨年度調査を行った同志社の七不思議について、バーチャル上で再現し、体験することができるワールドを作成した。七不思議の現場の中には現在では立ち入り禁止区間となっているものも存在していたため、「現在は何らかの事情でなくなってしまったものを再現し、実際に体験することを可能にする」という活動方針に沿っていると考え、再現する事象として同志社の七不思議を選択した。

しかし、未だ不具合が多く公開するまでの質には至っていないため、10 月末までの修正・公開を目指す。



図 3 七不思議体験ワールド内の廊下の様子

3. 今後の活動予定

11 月末の 150 周年記念日には、今出川と京田辺二つのキャンパスをつないだ、宝探しゲームを元にした協力型のイベントを行う予定である。10 月から 11 月はメンバー全員で協力し、宝探しゲームの作成やイベント集客のためのポスター・広告の作成などといった、クローバー祭やイブ祭、ホームカミングデー等のイベント出展のための準備を、総力を挙げて行っていく。その後は京田辺キャンパスや過去のキャンパスなどにさらなる改良を行い、歴史をクイズ形式で学ぶことのできる新たなワールドを作成していき、より楽しく学べるバーチャルキャンパスを作成していく予定である。